



Yusuke's behind the scenes

皆さまのお陰さまで娘も6歳、今春にはよいよ小学校に入学します！当初はなんとなく引込み思案だった様子が、今では友だちと「第九」を歌い、鉄棒やマットなど体操大好き少女となり、明るく活発に成長してくれています。家族と先生方のおかげですね。最近はお母さんの誕生日に、娘と二人できのこクリームソースパスタとチキンの甘辛煮を作って大絶賛され、ご満悦の様子。日々の成長に刺激されながら、親も共々、日に新たに頑張ってます！今後も家族でお付き合いのほど、宜しくお願いいたします😊

中西祐介 プロフィール YUSUKE NAKANISHI'S PROFILE



- 誕生日:1979年7月12日
■出身地:徳島県阿南市
■ポリシー:天命に生きる
■特技:グライダー、料理、SUP

現在の役職 ○参議院予算委員会 筆頭理事 ○自民党徳島県支部連合会 会長

学歴・職歴 ・阿南市立阿南中学校 卒業
・徳島県立富岡西高校 卒業
・慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
・(株)UFJ銀行(現三菱UFJ銀行)
・(財)松下政経塾第28期生 卒業

略歴 ・自民党 青年局長代理(2014年)
・第3次安倍改造内閣 財務大臣政務官(2015年)
・自民党 水産部会長(2016年)
・自民党 政務調査会 副会長(2017年)
・参議院憲法審査会 幹事(2018年)
・参議院財政金融委員会 委員長(2019年)
・参議院自民党 国会対策委員会 筆頭副委員長(2020年)
・第1次/第2次岸田内閣 総務副大臣(2021年)
・参議院自民党 政策審議会 筆頭副会長(2022年)

選挙 ・2010年7月 参議院議員選挙(徳島選挙区) 142,763票 初当選
・2016年7月 参議院議員選挙(徳島・高知選挙区) 305,688票 二期目再選
・2022年7月 参議院議員選挙(徳島・高知選挙区) 287,609票 三期目再選



2010年7月 自民党が野党時代 史上最年少(31歳0ヶ月)で初当選。
2015年10月 史上最年少(36歳2ヶ月)で財務大臣に就任。
2016年7月 憲政史上初の国会選挙(徳島・高知)を制し、二期目再選。
2021年10月 史上最年少(42歳3ヶ月)で総務副大臣に就任。
2022年7月 徳島・高知の全58市町村で最多得票を勝ち取り、三期目再選。

東京事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館622号室
徳島事務所 自由民主党徳島県参議院選挙区第二支部
高知事務所 〒780-0861 高知県高知市升形1-21 自民会館

「読む、中西祐介 JOURNAL/Y」バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。
https://yusuke-nakanishi.info



読む、中西祐介

「日に新た」に躍動する 徳島県・高知県 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナル ワイ / Create our new age and make each day a new



国会の花形といわれる、予算委員会。中でも、与党筆頭理事は政府 野党・霞ヶ関との調整にあたる重要な立場。出口を預かる参院、今回その重責を、史上最年少44歳で抜擢されました！ 予算、税制をはじめ、国政全般に渡る幅広い課題に連日奮闘しております。

参院予算委員会 筆頭理事に就任。

躍動



皆さまの明るく健やかな新年を心よりお祈り致しております。コロナ禍からの脱却後、株価や総取税、賃上げなど経済全体の大きな指標では、先進諸外国比堅調な状況を生み出していますが、物価やエネルギー高、国と地方の格差、一次産業や中小小規模事業者の展望、社会保障制度改革や子ども子育て環境の整備など、多くの課題が山積しています。世界情勢が大きく激変する中、我が国を取り巻く安全保障環境の厳しさに対応するためにも、政治の安定を実現し、信頼と未来展望ある日本を作り上げなければなりません。情熱と志を胸に、皆さまの思いに応える政治に、本年も奔走して参ります。

令和6年1月吉日 参議院議員 中西祐介

公式Facebookはこちらでご覧頂けます ▶▶▶ https://www.facebook.com/183016952047014/

“自由で開かれたインド太平洋(FOIP)” 構想の実現へ

参議院政府開発援助(ODA)調査派遣の団長として、 超党派でスリランカ・バングラデシュを公式訪問。

初当選以来、外交施策にも力点を置き、これまで世界約30カ国を歴訪。

今回は公式派遣団団長として、インド洋の要衝にあるスリランカとバングラデシュに調査派遣されました。歴史的に親国である両国、ス国は10年ぶり2度目、パ国は本調査団として史上初めての訪問となりました。

我が国が提唱した「自由で開かれたインド太平洋」戦略は、今や崇高な理念外交として、世界の多くの国が賛同しています。札東や物量、武力等の力による現状変更を試みる権威主義的外交でなく、法の支配の下で各国の主権および人権を守る外交を各国と協調しながら貫徹しなければなりません。
“債務のわな”や、経済格差、難民問題で揺れる南アジアでの現場の洞察を、政府与党の一員として今後の外交にしっかりと生かして参ります。

スリランカ民主社会主義共和国 29th Aug~3rd Sep, 2023

▲グナワルダナ首相との意見交換
▲クマラスィンハ女性及び子ども関連担当閣務大臣との意見交換
▲セーマシンハ財務担当閣務大臣との意見交換
▲障害児・者の支援プロジェクト視察
▲アヌラダプラ農地視察
▲上水道整備事業視察後の現地マスコミ対応
▲海上安全能力向上の視察
▲現地紙一面の特集
▲JICA海外協力隊員との意見交換

JAPANESE MPs TO PROMOTE CLOSER BILATERAL TIES WITH SRI LANKA

▲派遣報告書はQRコードからご覧頂けます。

バングラデシュ人民共和国 4th~7th Sep, 2023

▲ハシナ首相との意見交換
▲アイビーン・ナラヤンギンジ市長との意見交換
▲マンナン計画大臣との意見交換
▲マンナン計画大臣との現地マスコミ対応
▲運河整備プロジェクト視察
▲ロヒンギャ避難民キャンプ視察
▲経済特区視察

▲派遣報告書はQRコードからご覧頂けます。

2023年秋【徳島・高知】要望

▲自民党徳島県連と徳島県による合同政策要望
▲徳島自動車道4車線化・徳島南部自動車道阿南芸芸道の早期完成に向けて後藤田知事はじめ沿線自治体市町村長の皆さま、徳島県議会自民党公明党会派の皆さまと森山総務会長、鈴木財務大臣に要望いたしました。

▲安全・安心の道づくりを求め高知要望活動「防災・減災・国土強靱化」のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保などについての要望。他にもたくさん各地課題を共有させて頂き、共に実現のため丁寧に働きかけて参ります。

▲財務省申し入れ
国道55号線・阿南安芸間高規格道整備、国道33号整備促進について、各自治体の皆様に同行いただき、申し入れを行いました。

住民を代表して熱意ある要請活動を行われている皆様々に心より敬意と感謝を申し上げます。

予算委筆頭理事として 先頭で重要課題に切り込む!!

令和5年10月31日
(参) 予算委員会
TV入り質疑(要約)

都道府県の意義と合区制度の弊害
都道府県は我が国の民主政治と行政システムの中でどのような役割を果たしているのか。また、合区制度の弊害を行政の長としてどのようにお考えか。
A【岸田総理】都道府県は広域自治体として行政サービスを安定的に提供する役割を果たしており、今後ますます果たすべき役割は増していくという認識。合区制度の弊害については、投票率の低下、無効投票率の上昇により、人口減少に直面する地域の実情が国政に反映しにくくなる懸念がある。

地方の経済コスト増
地方や子育て、本当に厳しい状況にある皆様に寄り添う姿勢を予算や制度に反映願いたい。
A【岸田総理】重点支援地方交付金についても、追加・拡充をすることによって地方の実情に応じたきめ細かな対応をする。地方の子供の状況にもしっかり自配した子供貧困対策を用意。
➔結果 子ども1人当たり5万円追加給付(低所得者世帯)及び、地方交付税3000億円を追加配分。

農産物の価格転嫁
農業の生産コストが高騰する中で営農者が夢をもって経営していける産業構造にするために、価格転嫁対策と国の農業研究機関への予算確保を。
A【宮下農相】農水省では生産から消費までの各段階の関係者が一同に集まる適正な価格形成に関する協議会を開催しており、我が国の実態に即した価格形成の仕組みづくりを進める。また、スマート農業技術による生産性の高い農業の実現のため現場実装等が一層進むよう必要な予算の確保も行う。
➔結果 次国会で「農業の憲法」である「食料・農業・農村基本法」の改正を行うことを明言。

円安を活用した輸出支援、事業承継税制
昨年から新規輸出一万余支援プログラムがスタートし短期間で大きな成果。まだまだ潜在力のある地方の企業の挑戦を強く後押しすべき。
A【西村経産相】今回の経済対策においても、相談体制の強化、輸出設備の導入支援、海外ECサイトとの連携強化を進める。この円安を生かした全国の中小企業、農水関係も含めて輸出支援を促進。
C 事業承継を後押しする税制の特例措置について、次世代が税負担を心配することなく新しい分野に挑戦するため申請期限の延長を。
A【西村経産相】ご指摘の通り、申請期限の延長をいま調整しているところ。できる限り中小企業の声に沿った対応をできるように検討。
➔結果 申請期限を2年延長し、円滑な事業承継を後押しし。

スタートアップ育成5か年計画
徳島の「神山まごど高専」は先進的取組だ。我が国経済が力を取り戻すために新しい種をまかなくては、起業家精神をもった若者が日本の新産業を創出できるようにスタートアップ育成に力を注ぐべき。
A【新藤スタートアップ担当相】スタートアップ育成5か年計画では人材育成、ネットワークの構築などを盛り込み、これを実現するために今回の経済対策でストックオプション税制、これを促進する会社法の整備を実現。

デジタル行財政改革
デジタル行財政改革の目指す姿と国民の皆様が享受する成果イメージは何か。
A【河野デジタル相】日本のさまざまな地域社会の中でも便利に豊かに生活できる実感をもてただけのような利用者目線の改革を進める。学校でのオンライン教育、オンライン診療、自動運転やタクシーの規制緩和を通じて地域社会を豊かにする。

地方公共団体情報システム標準化
当初目標は2025年までだが、先送りの場合の条件やフローを含めて現在どのような状況にあるのか。
A【河野デジタル相】なかなか26年までに移行できない自治体もあるため無理ないスケジュールで行う。デジタル庁と県内の自治体のコミュニケーションを回ったり、自治体職員が専門家に相談できるようなサポートを行う。
C 政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドの移行と運用のコストが課題になっている。自治体財政を考えたときに負担増にならないよう政府として最大限の努力を。
A【河野デジタル相】【鈴木総務相】詳細を分析してどう対応するかまでデジタル庁からアドバイスを行う。今後は、クラウド利用料を下げるなどコスト削減をおこなうとともに、自治体のご意見も踏まえ補助が出来るよう、必要な額の確保に努める。
➔結果 各自治体の移行にかかる経費5160億円を全額追加で確保。

医療DX
医療DXを実現するためにも、国民や医療現場にとってどのような具体的なメリットがあるのか、どうしていくのか。
A【武見厚労相】医療・保健・介護の情報がつながり、国民の平時における健康管理や医療費の適正化、重複処方などを回避し医療の質を確保できる。データ集積により新たな創薬基盤やAIによる診断も実現。そのために、マイナンバーカードと保険証の一体化により、医療データを全国一元的に安全に正確に管理する仕組みをつくるのが最も必要。
➔結果 トリプル改定の中で、診療報酬単体+0.88増、介護報酬+1.59増、確保し、買上げや医療DXの推進を実現。

質疑の様子は Youtubeでご覧頂けます。